

絵本の読み聞かせ・壁面かざり製作研修

(生活系列・保育モデル)

2021/08/2

仁摩図書館で保育モデルの3年生が「絵本の読み聞かせ」と「壁面かざり製作」に関する研修を受けました。研修の始めに仁摩図書館の職員の方から、「子どもの時に絵本を読んでもらった経験は、自分が大事にされていたという記憶とともに心に残り、その後の成長過程で子ども自身の心の支えとなる」とお話しいただき、読み聞かせの意味を改めて考えることができました。次に、実際に絵本を読む体験を通して、絵本の持ち方やページのめくり方、絵の見せ方や読み方について学びました。



さらに、お話しの世界を楽しむ方法として、パネルシアターやエプロンシアターについても説明を受け、実際に職員の方が演じてくださいました。今年度の邇摩高フェアは11月に開催が予定されます。来場して下さる地域の方々にお話しの世界を楽しんでいただけるよう練習を重ねていきたいと思ひます。



また、研修後半は、「壁面かざり製作」のための基本技術について教えていただきました。大小さまざまなサイズの折り紙を準備していただき、六角リースの折り方やあじさい・朝顔などの花や葉っぱなどを折りました。限られた時間でしたので、リースを完成することはでき



きませんでしたが、2学期以降の授業で作品製作を進め、邇摩高フェアなどで披露することを目標にしたいと思っています。

研修を開催するにあたり、多くの資料や作品を準備して下さった仁摩図書館の職員のみなさまに感謝したいと思います。